



国民春闘共闘

第19号

2018年3月15日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

日本医労連 3.15 産別統一行動

ストライキ、早朝宣伝、職場集会 全国で ベア回答引き出し、パート賃金改善

14日の回答指定日は、夜遅くまでねばり強く団体交渉が行われ、日本医労連本部には110組合から報告がよせられました。全体的には「定期昇給の実施」という状況ですが、そんな中でも17組合でベースアップ回答を引き出し、40組合がパートの時給アップや一時金獲得などの前進をかち取っています。15日は産別統一行動日、早朝からストライキや宣伝、職場集会など全国で301組合2万人が決起します。

ベア回答17組合に 基本給（定昇込）5,088円 1.92%（3月14日23時30分現在）

宮崎の井上病院労組では1000円のベア回答を引き出しました。定昇3200円+勤続手当1000円とあわせ5200円の回答です。北九州福祉事業団は、0.09%のベア、嘱託・臨時職員も改善。岡山・倉敷医療生協労組でも一律500円のベアを引き出しました。同じく岡山の津山医療生協労組でも一律ベアを確約、広島保健医療生協労組ではパート・嘱託職員の時給「定昇+10円」をかちとっています。

臨時・パート職員の賃金改善の報告も35組合から届いています。京都保医協労組のほか、奈良秋篠茜会労組で1500円のベア、同じく奈良・協同福祉会労組で処遇改善加算の一部を活用して5000円のベア。北海道勤医労では全7法人からベア回答（職種限定含む）を引き出し、明日のストライキを回避しました。北海道サン薬局労組は3年連続でベア獲得です。臨時・パート職員の賃金改善では速報⑩に続き、長野・林の杜労組で10円、奄美医療生協労組で10円の引き上げ、愛知・豊橋市職労市民病院支部、広島医療生協労組でも賃金改善の回答を引き出しています。

オホーツク勤医労 氷点下の中スタンディング



全日赤・全労災・東京民医労南部医療支部がストライキ

具体的な回答が示されなかった全日赤、全労災は始業時からストに。

【全日赤成田】

支援者も含め玄関前でスト集会。執行委員長が、新しい病院長が賃上げは職員確保に必要と話したことを紹介し、働きやすい職場をつくるために頑張ろうとあいさつしました。



【全日赤さいたま】

参加は保安要員、支援者を含め74人。玄関前でのスト集会冒頭、「職員の生活を守れ！有給休暇を返せ！」とシュプレヒコール。書記長は、「現場は、困っている。医療を守る意味でも、組合員を増やすことが必要。つらい思いしている職員がたくさんいる。一緒に声をあげる仲間をみんなで増やそう」と結びました。



【全日赤医療センター第1労組】

朝7時半から出勤する職員や患者さんへのビラを400枚配布。その後食堂の一角でスト集会を実施しました。



【東京民医労南部医療支部】

ベアゼロ回答に抗議し、早朝から1時間のストを決行。ストには70人が参加。その後、病院前の署名行動や地域労連の行動に参加して延べ120人が今日の1日の行動に結集します。スト集会ではねばり強くたたかって必ずベアを勝ち取ろうと意思統一しました。

**安倍9条改憲・労働法制改悪NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**